

《第83回》令和二年二月の作品

〈二月十四日（金）於・文京区民センター2C〉

コカリナの響きやさしき春の宵
（芙紗）

寒木瓜の咲きつぐ園のしじまかな
（清助）

家族して役者気取りの鬼やらひ
（前歩）

松園の描く美人画春の舞
（正佳）

恋猫に話の腰を折られけり
（一江）

初場所や幕尻力士の嬉し泣き
（貴美）

改札をい出し途端の寒さかな
（奉男）

かの人の逝去知らせる寒見舞
（平六）

柵挿す格子戸くぐる島田髻
（隆治）

友の来て夜通し話し朝寝かな
（正雄）

丘陵の木の間に透けて春の雲
（孝昭）